

テーマ

地域活性化・地域社会への貢献

温泉化事業と誘客促進で鴨川地域を活性化

鴨川温泉旅館業協同組合

「鴨川温泉」としての地域ブランドの浸透と収益増加を図るため、旅行企画や入浴剤等の新商品の販促の充実、温泉施設のサービス向上を図っている。

背景と目的

団体旅行の減少や観光客のニーズの多様化等、鴨川市内の観光施設や宿泊施設等はこうした環境変化への対応が求められており、地域全体で取り組む必要があった。こうした中、「鴨川温泉 なぎさの湯」は、当時の旅館組合が共同で掘削を行ってスタート、源泉地からタンクローリーで配湯する温泉化事業を行うことで鴨川温泉を広めることにした。

事業・活動の内容と手法

当組合の取組みとして、宿泊プランの企画、広告及びパンフレッ

ト作成等の共同宣伝事業及びホームページの管理等の宣伝事業等を行う誘客促進事業、鴨川温泉「なぎさの湯」加入施設への温泉配湯事業を行う温泉供給施設等の管理運営事業等を行い、入浴剤などの新商品開発にも取り組んでいる。

また、観光プラットフォーム推進協議会に参画し、鴨川ポータルサイト「かもナビ」や市内宿泊施設の予約サイト「カモ旅」と連携して宿泊予約の受付を行っており、民間ネットエージェントよりも割安な手数料にすることで組合員の収益向上に寄与するとともに、「かもナビ」の浸透等を図っている。さらに、東京から2時間圏内の9県10温泉地で構成する広域連携体「東京エッジコンソーシアム（TEC）」に参画し、関東地方におけるインバウンドの誘客を進めている。県内自動車販売会社が幕張メッセでイベントを開催

した際には、「房総の名湯・足湯で一休み」と銘打ったブースを設け、鴨川温泉の足湯休憩サービスを実施。2日間でのべ3万人と成った入場者に対して積極的なアピールを行い、知名度向上につなげることができた。

活動の成果

温泉化事業を行い宿泊施設に配湯することで温泉施設が増加。さらに地域団体商標の取得によるブランド力の醸成や、地域独自の商品力の強化等を図っていくことで地域ブランドを推進することに繋がった。



▲鴨川温泉の元で作られた入浴剤で現在新商品開発中



▲自動車販売会社主催のイベントで足湯を出展

鴨川温泉旅館業協同組合

住所：〒296-0001
千葉県鴨川市横渚945-2

設立：平成23年7月

出資金：2,200千円

電話：04-7092-0086

業種：旅館・ホテル業

組合員：22人